

大会における感染拡大防止対策ガイドライン（ 埼玉葛地区 硬式テニス ）

<運営に関して>

- ・緊急事態宣言に伴い、自治体等から大会中止の判断が出された際は、大会を中止とする。
 - ・休校措置がとられている学校の出場は認めない。
 - ・参加校のうち、休校措置となった学校が半数に達した場合、大会を中止とする。
 - ・各市町で大会不参加、予選会の中止の決定があった場合、大会を中止とする。
 - ・集合の分散を図るため、個人参加選手の受付に時間差を設ける。
 - ・選手1名につき保護者1名 ※今後の情勢によって変更あり
 - ・個人参加選手の保護者引率は、選手1名につき保護者1名とする。
 - ・当日、暑さ指数（WBGT） 31° を超えた場合、試合を中止または延期とする。
- ※ 今後の情勢も含め、中体連の指示により変更があるため最終的な判断は代表者会議でお伝えします。

<受付>

- ・参加名簿兼健康状態同意書（顧問会議で配付）を提出、2週間保管し専門部でこれを破棄する。
- ・学校の部活動として参加する選手については、教員がまとめて受付し、選手による受付は行わない。
- ・学校参加、個人参加ともに参加名簿と健康観察表を当日本部に提出、2週間保管し専門部で破棄する。（当日、提出がない場合は参加を認められません）
- ・個人参加の選手は保護者同伴で受付するが、その際、保護者の検温を実施する。
- ・受付において、一定の間隔をとり、他の選手との会話を禁止する。

<会場での対策>

- ・3密（密閉・密集・密接）を極力避ける。試合観戦時もソーシャルディスタンスを保つ。
- ・無観客の実施としているので、試合時に引率保護者によるコート前での観戦を禁止する。
※コート入り口～本部にかけてのセンターラインにおける保護者の試合観戦禁止
- ・開会式は行わず、注意事項は事前指導を徹底する。また、表彰式は簡素化して行う。
- ・声を出しての応援は団体戦においても禁止し、拍手のみとする。
- ・大会本部には消毒液を常備する。

<選手の体調管理>

- ・試合当日 **2週間前**から検温等を行い、健康状態表（顧問会議で配付）に記入し、受付時に提出する。
- ・試合当日に発熱及び風邪などの症状があった場合や濃厚接触の疑いがある場合は出場を禁止する。
- ・学校関係者が検査対象中の場合、試合当日の学校における判断処置に準じて参加の可否を決定する。
- ・大会期間中に発熱及び風邪の症状が発症した際は、その時点で出場を禁止する。
- ・試合時以外はマスクを着用する。
- ・水筒やタオルは個人持参を徹底する。（貸し借りやチームで共有しない）
- ・大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局に報告する。
- ・昼食はできるだけ他と時間をずらし、他と向かい合っでの摂食を避ける。

<試合中における注意>

- ・ベンチに座る際も選手同士の距離を空ける。 ・試合の始めと終わりの挨拶は握手をしない。
- ・ダブルスにおいて、不要な接触（ハイタッチ等）、ペアとの密接した相談はしない。

<同意書提出>

以上の防止対策について、保護者の同意書を提出する。提出のない場合、試合の参加を認めない。